

平成 28 年第 4 回西海市議会定例会

市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
12月6日(火)	1	1	田 崎 耕 太 議員	1
	2	2	岩 本 利 雄 議員	2
	3	3	中 野 良 雄 議員	2
	4	4	瀧 瀬 栄 子 議員	4
12月7日(水)	5	1	朝 長 隆 洋 議員	5
	6	2	平 野 直 幸 議員	6
	7	3	渡 辺 督 郎 議員	8
	8	4	浅 田 直 幸 議員	9
12月8日(木)	9	1	田 口 昇 議員	10
	10	2	戸 浦 善 彦 議員	11
	11	3	小 嶋 俊 樹 議員	11

1. 田 崎 耕 太 議員

質問事項 1

ポートホールン長崎について

質問の要旨

- (1) 旧長崎オランダ村施設利活用事業に係るホーランドビレッジ株式会社の役員の変更を含む体制の刷新及び人員整理の詳細とその理由について伺う。
- (2) ポートホールン長崎の経営方針が計画の策定段階から今日に至るまで二転三転しているが、安定した管理運営を行う見込みはあるのか。再建の見通しについて問う。
- (3) ポートホールン長崎の経営方針転換後の経営の実態について、詳細な説明を求める。
- (4) 第三回西海市議会定例会において、平成 28 年度西海市一般会計補正予算（第 2 号）に海面使用協議会設置負担金として 200 万円が計上され可決されたが、協議会における協議内容全般と進捗状況について説明を求める。
- (5) 本市とホーランドビレッジ株式会社が交わした使用貸借契約の内容は、運用の仕方によっては、当該事業者がそもそも倒産をしない又は倒産しづらい構造になっていることに重要な問題がある。ポートホールン長崎は「失敗していない」と市長が公言することができるのもそれ故である。しかしながら、他面で、旧長崎オランダ村施設利活用事業は、成功とは程遠い現状が見て取れる中、市長は、どのような事柄について如何にしてその責めを負い政治責任を全うするのか。明らかにせよ。

質問事項 2

パールテクノ西海について

質問の要旨

市長の任期も残すところ 4 か月である。パールテクノ西海への企業誘致の進捗状況について、再度問う。

2. 岩 本 利 雄 議員

質問事項 1

歳入増対策について

質問の要旨

歳入増対策は、歳出削減対策同様重要な施策である。予算編成時には毎年度のように、一定のシーリングをかけて歳出削減に取り組んでいる。それと同様、歳入増対策にも目標を設定し取り組むべきだと考えるがどうか。

質問事項 2

ふるさと納税について

質問の要旨

- (1) ふるさと納税事業を推進させるにあたっての問題点は何か。
- (2) 平成 28 年度の寄附件数と寄附金額の見通しと、平成 29 年度の目標件数と目標金額について伺う。
- (3) 企業版ふるさと納税の事業申請はまだか。

質問事項 3

乾杯条例について

質問の要旨

- (1) 吟醸芋焼酎「磨き大島」は好評で、売れ行きは順調だと聞いている。地元焼酎による乾杯条例を制定し、消費拡大を図るべきだと考えるがどうか。
- (2) 大島酒造株式会社は、西海市が約 28%を出資している会社である。同会社に対し、市はどのような支援をしているか。

3. 中 野 良 雄 議員

質問事項 1

学校給食費の無償化について

質問の要旨

子育て世帯の経済的負担を軽減し、少子化と子どもの貧困に歯止めをかけるため、小中学校児童・生徒の同一世帯で 3 人目以降について、学校給食費を無償化する考えはないか伺う。

質問事項 2

光ファイバーケーブル等の情報通信基盤整備について

質問の要旨

- (1) 企業や産業の活性化並びに地域活動の活性化と地域間の情報格差をなくすため、光ファイバーケーブル等の情報通信基盤整備が急がれている。

市は現在、情報通信環境整備計画を策定中であるが、計画の概要を伺う。

- (2) 離島や遠隔地域に於ける情報通信基盤整備の必要性が求められているが考え方を伺う。

質問事項 3

大島町自転車専用道路の抜本的整備について

質問の要旨

現在、大島町真砂地区から大島造船所間は、朝夕の通勤・退社時間帯の交通渋滞が恒常化している。

大島工業団地完成後においては、通勤者の増加が見込まれ、交通渋滞の深刻化が危惧されている。特に自転車通勤者の安全対策が求められているが、大島工業団地整備を見据えた自転車専用道路を抜本的に整備する考えはないか伺う。

質問事項 4

漁船の避難港整備について

質問の要旨

近年、猛烈に強い台風が多く発生しており、漁船の安全な係船場の確保が求められている。以前、同僚議員から一般質問が行われているが、漁船の避難港整備の必要性について、どのように考えているのか伺う。

- (1) 崎戸町土井の浦の避難港整備について

質問事項 5

公共施設の維持管理について

質問の要旨

公共施設の老朽化に伴い、利用者の危険性や負担が増大していると言われている。

学校施設や社会教育施設並びに道路等の維持管理状況と整備状況を伺う。

4. 湊 栄子 議員

質問事項 1

樹木（支障木）の伐採について

質問の要旨

- (1) 安全・安心な道路環境の整備を図るための道路沿線の市有地の樹木伐採について、現状と対策は。
- (2) 平成 25 年 9 月定例議会で「大瀬戸町雪浦幸物地区の県道扇山公園線は樹木が生い茂り道路に伸びて対向車の確認が難しくなっている箇所がある」と一般質問したところ、「県と打ち合わせをしており調整をしながら県にお願いしたい」との答弁であったが、未だ改善されていない。早急な対応が必要であると思うが、見解を伺う。
- (3) 同定例議会において、「民有地からはみ出している樹木については、原則として所有者の伐採となるが、中には個人では手に負えない大木もあり、そのままの状態では放置されると被害を及ぼす恐れがある支障木については、所有者と協議の上、危険箇所の解消に向けて対応する」との答弁がされたが、これまでに解消した危険箇所の件数と今後の対応を伺う。
- (4) 民家に隣接している市有地の樹木伐採の要望について、現状と対策について伺う。
- (5) 平成 25 年 5 月に大瀬戸町向島地区より墓地周辺の市有地の樹木伐採の要望書が提出されているが、未だ改善されていない。早急な対応が必要であると思うが、見解を伺う。

質問事項 2

イノシシによる被害対策について

質問の要旨

- (1) 農家はもちろんのこと、非農家であっても野菜作りを楽しみに暮らしている方々の被害対策として、「耕作面積」「農家であること」などの要件を見直し被害対策を講じることは出来ないか。
- (2) 民家や学校の周辺・通学路などにイノシシが出没して不安を与え、道路の法面や石垣を崩すなどの被害も起こっている。
個別的から集落的まで幅広い対応が必要であると思うが、生活環境被害防止の現状と対策について伺う。

質問事項 3

横瀬LCAC駐機場の運用について

質問の要旨

- (1) 海上自衛隊所属のLCACが平成28年9月9日、夜間航行を行ったことに対し、市は、どのように事態を把握し対策を講じたのか。
- (2) 今回の海上自衛隊所属のLCACの夜間航行は、米海軍のLCACの夜間航行を許すことになるのではないかと危惧する声があるが市長の見解は。
- (3) 既存の横瀬貯油所の改良、拡張、新たな小規模船渠の建築計画及び予備設計のため調査が実施されているが、横瀬貯油所の埠頭拡張につながる調査をなぜ市は認めたのか。

質問事項 4

旧崎戸中学校跡地利活用事業について

質問の要旨

産炭地域新産業創造等基金助成金を活用して、旧崎戸中学校跡地利活用事業が計画されているが、事業に応募している事業者が現に行っている事業に対して市民からの苦情が寄せられていると聞くが、市は把握されているか。

5. 朝 長 隆 洋 議員

質問事項 1

職員の専門化と固定配置により行政力の向上を図れないか

質問の要旨

職員のスキルを高め、大胆な政策提言ができる環境を作り上げるための制度を図るべきだと思うが、なかなかそうした状況になっていないと感じる。

合併算定替えが終了すると、職員数もこれから先、削減していかなければならず、実際には、事務処理の仕事が以前以上に多くなってきており、普段の仕事も大変多く手一杯の中で、政策提言にまでは余裕がないといった状況は理解する。

しかしながら、今後、市民協働の仕事が求められる中で、市の職員としてのプライドを持ち、達成感を得ることが、行政力の向上につながると感じる。

現状を拾い上げ、方法を模索することからしっかりと進めるべきであると思う。そこで次の事について伺う。

- (1) 数年ごとに配置換えがあることにより、せっかく覚えた仕事もゼロから始めることが多いと思うが、その職員が得意とし、専門的な領域として市民協働に欠かせない存在であると市民が求め本人が希望するならば、その分野のエキスパートとして、選任することは出来ないか。

例えば、大変重要な農業振興策、従事者の高齢化に対して、6次産業化を図っていくという行政の取組みや考え方を議会でも過去何年も議論しているが、一向に成果が上がっていない。その理由として、大胆な予算付けの政策が必要とわかっているのに、実際には図られていないため、試行錯誤して事業を検証し、次年度の取組みに繋げるといったことが出来ていないと感じる。

その為にも、今回示したように、絶対に農業振興を成し遂げてやるという気概を持った職員の配置による行政力の向上が求められてはいないか。

質問事項 2

婚活事業の積極的な推進について

質問の要旨

西海市は、婚活事業を大胆に進めるべきである。県の事業に市が上乘せしてでも、しっかりと予算措置して進めないと成果は上がらないし、単年度で実施するよりは、5年計画で実施した方が改善点を次に活かせることから、効果は上がり、商工業・農業・水産業・その他の組織でそれぞれ事業を考えて実施することで、関わる方達の親睦や西海市のPRに繋がると感じる。

婚活事業は、市とこの地に暮らす方々の絶好のPR事業である。

現在、市が取り組んでいる事業と成果はどのようになっているのか。

6. 平野直幸議員

質問事項 1

指定管理者制度の検証について

質問の要旨

指定管理者制度は、地方自治法一部改正により平成18年に施行され、本市においても、条例において公の施設として規定されたものを順次、指定管理者・指定管理期間・指定管理料等を議会の議決を経て定め導入してきた。

西海市の現状は、平成28年4月1日現在、公募による公の施設は、大瀬戸やすらぎ交流拠点施設以下15施設で、平成28年度の指定管理料は8,769万5千円とな

っている。

一方、非公募のものは 68 施設あるが、指定管理料が必要なものは、江島デイサービスセンター以下 9 施設で、平成 28 年度の指定管理料は 8,129 万 4 千円となっている。なお、非公募の施設の中には、伊ノ浦生活館など自治会管理型の公の施設が 57 あるが、これらは自治会等が指定管理者となり、指定管理料は発生していない。

さて、制度の導入からおおよそ 10 年が経過した今日、指定管理に係る更新は継続されたものが多い中、これまで議会における審議では、市の管理責任問題や施設補修に係る負担のあり方等について、幾度となく指摘があったと認識している。

については、施設そのものが老朽化したものも指定管理者制度を採用している今日、市の管理責任を果たす観点から、指定管理施設のあり方、費用・期間等について検証を行い、制度の運営方法について再検討する時期にきていると考える。

次のことを伺う。

(1) 施設設置者としての管理責任について

- ① 指定管理施設は契約時に改善されているか
- ② 議会等の指摘は反映した対応となっているか

(2) 制度適用施設の費用負担について

- ① 直営の場合の費用と指定管理時費用の試算比較はあるか
- ② 指定管理者（受託主体）の費用負担に無理は出ていないか

(3) 指定管理施設の管理計画について

- ① 指定管理施設の改修計画はあるか
- ② 地方交付税算定のトップランナー方式への対応は

質問事項 2

地域おこし協力隊の見通しについて

質問の要旨

地域おこし協力隊の設置については、国も積極的に推進していることから、本市でも制度を活用していると認識しているが、現在本市では、一旦、地域おこし協力隊員として委嘱された者が、不在の状態となっている。何とかして人材の発掘に取り組み、この地域おこし協力隊員の方が、本市に定着できるならば移住につなげて頂きたいと期待している。

これについては、生涯活躍のまち推進協議会の移住促進センターによる移住実績や地域おこし協力隊誕生の情報に接する機会があった。

今後、設置の検討にあたっては、このような官民を問わない様々な機関の多方面の支援・アドバイスも重要なことと考えるが、地域おこし協力隊の取組みの状況と見通しについて伺う。

- (1) 地域おこし協力隊の応募内容と実態に問題・課題はないか
- (2) 今後の方針等について

7. 渡 辺 督 郎 議員

質問事項 1

地域包括ケアシステムについて

質問の要旨

- (1) 新聞報道によると、県下自治体の地域包括ケアシステムの構築が遅れているとのことである。構築できたと自己評価したのは佐々町だけで、他の自治体は構築できたとは答えていないとのことであるが、本市の包括ケアシステムの構築状況について遅れているとの認識があるのか、あればなぜ遅れているのか、その理由や背景について伺う。
- (2) 地域包括支援センターが主体的に取り組む地域ケア会議の運営状況は、どうなっているのか伺う。
- (3) 医療と介護の連携は不可欠と言われているが、本市の連携構築の現状はどうなっているのか伺う。
- (4) 西海市内の医療機関について、西彼杵医師会に属する医療機関と医師会に所属していない医療機関がある。地域包括ケアシステムを構築するには、市が両機関の間に入って、連携を図る必要があると考えるが、如何か。
- (5) 地域包括ケアシステムに求められるのは、在宅医療、在宅介護である。この態勢づくりには、西海市全域を守る市立の医療機関が必要と考えるが、設置の考えはないか伺う。

質問事項 2

議会のインターネットを活用した動画中継について

質問の要旨

今後、議会として協議して行くべき課題であるが、個人的には、市民と議会のつどい等の場でも市民からの要望があることから、早急に議会の動画中継に取り組むべきであると考えている。市長の考えを伺う。

8. 浅田直幸議員

質問事項1

国境離島新法への対応について

質問の要旨

平成29年4月1日施行予定の国境離島新法に対して西海市としての考え方、方向性、今後の取組みについて伺う。

質問事項2

多目的船（はやて2号）の使用について

質問の要旨

- (1) 西海市多目的船舶の運行及び管理に関する条例第5条第5号の「その他」の区分については、施行規則の様式を見ると、庁用業務を主眼に規定されているように見えるが、同条第4号の「庁用業務」との差異はどのようなものか。また、この「その他」の欄が適用されるのは、具体的にどのような事例か。
- (2) 多目的船（はやて2号）は、条例で設置されており公の施設であると考えるが、条例第5条第5号の「その他」の部分に具体的な基準を設け、同条第1号から第3号までの区分に準ずるようなもの（家族、遺族、医師などの緊急時の渡航や災害発生時における民間人の渡航など）や、第4号の区分に準ずるようなもの（議会活動ではない議員個々の職務上の活動など）についても、公益性に照らして認め得るような規定や施行規則における該当様式を定める必要はないか。

質問事項3

公共施設の財産処分について

質問の要旨

- (1) 西海市内において学校統廃合のため、廃校、解体される施設で不必要になった備品、最終的に残った備品の処分はどうされているのか伺う。また、教育関係以外の施設の備品についても併せて伺う。
- (2) もし、ゴミとして処分場に持って行っているならば、市民に払下げ出来ないか伺う。

9. 田口昇議員

質問事項1

西海市農業施策について

質問の要旨

農業を取り巻く環境は依然厳しいものがあります。担い手不足、従事者の高齢化に伴い農地の荒廃化や経営規模の縮小が急速に進んでいます。

市の農業振興を図るためには農業に対する情熱を持った若い人材の育成と豊かな農地の確保と保全が必要であります。

水田の圃場整備については進んでいますが畑地帯の整備については、まだまだこれからで、早期着工が望まれているところです。つきましては、次の事項について伺います。

(1) 畑地帯の圃場整備の進捗状況について

(丸田地区、白崎地区、小迎地区、面高地区)

(2) 担い手の確保と育成に関し、新規就農者の最近の動向について

(3) 大型整備事業及び小規模農地の狭地直し事業の取組みについて(今後の計画等について)

(4) 農地中間管理事業の取組みと実績について

(5) 有害鳥獣被害防止対策について(農道、林道、市道の各被害への対応は)

(6) 農業の6次産業化の取組みについて

質問事項 2

西海市小中学校適正配置事業について

質問の要旨

西彼、大瀬戸、大崎各地区における適正配置事業の進捗状況について

10. 戸 浦 善 彦 議員

質問事項 1

市政運営について

質問の要旨

(1) 田中市政(2期8年)でマニフェストに掲げた政策目標をどのように点検、検証をされたか。また、それらを踏まえ、市長が考えるこれからの政策を伺う。

(2) 西海市として5町合併して12年、旧町時代から現在に至るまで市として統一されていないものは、どういうものがまだあるのか。(例:行政区長の報酬など)なぜ、それらが各町格差なく市として今まで統一がなされなかったのか。点検

と検証を基に今後の市としての予定をそれぞれ伺う。

- (3) 西海市民としての誇りと愛着、一体感の醸成のために、「市民憲章」の制定を提案する。市としての考えを伺う。

11. 小 嶋 俊 樹 議員

質問事項 1

落雷事故の安全対策について

質問の要旨

最近、全国的に落雷事故が発生しているが、本市においても事故が多発している。

落雷は生命が危機に曝されることはもちろんだが、住宅施設や家電製品など、財産の損失も多額になる。

この自然災害に対する安全対策が必要と考えるが、次の2点について伺う。

- (1) 直近3ヶ年の市内の被害状況は把握しているか。又、市内の多発地帯の認識はされているか。
- (2) 全国の自治体においては、独自の体制をとっているところがあるが、本市においても新型避雷針P D C E（極性反転システム新型避雷針）の設置支援などをして公共施設や個人の住宅の安全確保を促す活動をすべきではないのか。

質問事項 2

旧オランダ村跡地利活用事業ポートホールン長崎について

質問の要旨

去る4月に課題の解決策として市長肝いりでポートホールンは開園・出発された。その目的である交流人口の増加と食文化の創造は未だ不透明で確立されていない。次の3点について伺う。

- (1) 近く新体制で企画立案された事業が始められる見通しだが、その方向性と具体案を示していただきたい。
- (2) オープンから現在までの状況をふまえ、ホーランドビレッジ株式会社の責任についてはどのように考えているか。
- (3) 当初の企画が頓挫したにもかかわらず、市長は失敗していないと言明し、成功するまで頑張ると発言しているが、今後も財政支援を含め支援し続けるのか。